



令和元年度 北海道八雲養護学校学校評議員会だより



令和元年度北海道八雲養護学校第1回学校評議会を7月3日（水）に本校校長室において開催しました。

第1回評議員会では、校長挨拶、辞令交付のあと、校長から「今年度の学校概要及び経営について」の説明、その後教頭から「今年度の学習活動の概要について」「センター的機能について」「移転について」等の説明を行いました。

その後、意見交換を行い、評議員の方々から、移転に係ってのご意見をいただきました。

＜令和元年度 北海道八雲養護学校 学校評議員＞

所 属 等	氏 名	備 考
独立行政法人国立病院機構八雲病院 理学療法室長	三 浦 利 彦	継 続
北海道八雲養護学校卒業生	石 前 翔 平	継 続
北海道八雲養護学校後援会長	大久保 建 一	継 続
八雲町教育委員会学校教育課参事	齊 藤 精 克	新 規
八雲町役場住民生活課 課長補佐	菅 原 真紀子	継 続

＜学校からの説明＞

【校長から】

- ・今年度における学校教育目標について説明を行い、今年度における教育の重点6点について説明を行った。
- ・重点では、「将来の可能性が具体的に分かること」「社会参加、地域とのかかわりから学ぶこと」「介護される存在だからこそその自治的能力の育成」などについて、本校の学校生活で教員一人一人が意識した指導を行っていくとしている。
- ・本校の教員には、「私は、子どもに〇〇の力をつけることができました」と言える実践と成果を出すことを期待している。

【教頭から】

- ・本校の研究は、2か年研究の2年目で「病弱教育における将来をより良く生きようとする児童生徒の育成～学ぶ喜びから未来への喜びにつなげる教育活動をとおして～」を研究主題として、授業実践を行い研究のまとめを行う。
- ・特色ある教育活動として、「交流及び共同学習」「車いすスポーツ等の推進」「ICTを活用した遠隔による授業」を年間通して取り組んでいる。

【移転について】

- ・国立病院機構八雲病院の札幌移転に伴い、北海道八雲養護学校も移転する。
- ・移転後は、北海道手稲養護学校分校となる予定である。（名前は未定である。）
- ・病棟及び校舎は今現在建設中である。
- ・11月2日（土）に午前中学校祭、午後に感謝式として式典を行う予定である。

＜学校評議員から＞

- ・現在建設中の校舎における体育館は、何階に建設されるのか。
→設計で言うと2・3階に体育館棟がある。
- ・学校が北海道手稲養護の分校として校長・事務長が不在となると学校としての機能で問題はないのか。
→特に問題はない。今の段階から札幌市立山の手養護学校と協議を重ね、いろいろと確認を行いながら、今後も進める。
- ・eスポーツの取り組みについては、八雲病院でも行っているが、社会参加のために必要であると感じている。現在、テレビや新聞等で取り上げられる機会が増えていることもあり、病院では積極的に取り入れている。
→学校としては、病弱の児童生徒にとっては、社会参加の一つにつながると考えている。
学校としてどのように時間を取り、取り入れていくかは今後も検討していきたい。

＜まとめ＞

今年度は、来年の8月の移転に向けての準備もあり、11月2日（土）には感謝式も予定しているため、本校の教育を地域の皆様に理解していただき、感謝する思いを伝えることのできる1年としていきたいと考えております。皆様の力をお借りして児童生徒の実り多い一年にしたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

